

# 2019/2020 ジャパンカップスピードスケート競技会 第1戦 要 項

2019年10月14日

## 1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟(以下「本連盟」という。)

## 2. 共催(予定)

北海道新聞社

## 3. 後援(予定)

北海道 公益財団法人北海道スポーツ協会 帯広市 帯広市教育委員会 一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団  
帯広市体育連盟 十勝毎日新聞社

## 4. 主管

一般財団法人北海道スケート連盟(運営主管:帯広スケート連盟)

## 5. 会場

明治北海道十勝オーバル(帯広の森屋内スピードスケート場)

北海道帯広市南町南7線56番地7 帯広の森運動公園内 TEL:0155-49-4000

※競技会に関することは、会場への問い合わせをしないこと。

## 6. 競技距離

女子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(16周)

男子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m 10000m マススタートレース(16周)

## 7. 日程

2019年11月14日(木)

公式練習 13:00-13:50(スタートトライアル 13:20-13:40)  
14:05-14:55(スタートトライアル 14:25-14:45)  
15:10-16:00(スタートトライアル 15:30-15:50)

代表者会議及び抽選 17:00(明治北海道十勝オーバル)

2019年11月15日(金)

ウォームアップ(Div.B) 7:50-8:35  
開会宣言 8:40  
競技開始 9:00 ①Div.B 女子 500m ②Div.B 男子 500m ③Div.B 女子 3000m  
④Div.B 男子 5000m

ウォームアップ(Div.A)  
競技開始 ⑤Div.A 女子 500m ⑥Div.A 男子 500m ⑦Div.A 女子 3000m  
⑧Div.A 男子 5000m  
⑨女子マススタートレース準決勝 ⑩男子マススタートレース準決勝

公式練習 競技終了後 30分

2019年11月16日(土)

ウォームアップ(Div.B) 7:50-8:35  
競技開始 9:00 ①Div.B 男子 3000m ②Div.B 女子 1000m ③Div.B 男子 1000m

ウォームアップ(Div.A)  
競技開始 ④Div.A 男子 3000m ⑤Div.A 女子 1000m ⑥Div.A 男子 1000m  
⑦女子マススタートレース決勝 ⑧男子マススタートレース決勝

|                |  |
|----------------|--|
| 公式練習           | 競技終了後 30 分   |
| 2019年11月17日(日) |  |
| ウォームアップ(Div.B) | 7:50-8:35  |
| 競技開始           | 9:00 ①Div.B 女子 1500m ②Div.B 男子 1500m ③Div.B 女子 5000m<br>④Div.B 男子 10000m |
| ウォームアップ(Div.A) |  |
| 競技開始           | ⑤Div.A 女子 1500m ⑥Div.A 男子 1500m ⑦Div.A 女子 5000m<br>⑧Div.A 男子 10000m      |

※競技日程は、参加者数により変更する場合があります。

## 8. 競技方法

- (1) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟(以下[ISU]という。)スピードスケート競技規則(以下「規則」という。)、本連盟規則による距離別競技会とする。
- (2) トラックは標準 400mダブルトラックタイプとする。ただし、マススタートレース(以下「MSR」という。)については、アップレーンを含む全面を使用する。
- (3) MSRを除く各距離ともランキングリストにより次のように区分する。ただし、参加申込者が下表に定める人数以内の場合は、全てを Division A とする。

| 距離                          | Division A | Division B | 参加申込者数 |
|-----------------------------|------------|------------|--------|
| 500m/1000m/1500m            | 1位-20位     | 21位以降      | 28名    |
| 女子 3000m/男子 5000m           | 1位-16位     | 17位以降      | 24名    |
| 女子 5000m/男子 3000m/男子 10000m | 1位-12位     | 13位以降      | 16名    |

- (4) 1000m以上の距離についてはカルテットスタート競技方法を採用することができる。
- (5) MSRを除く各距離における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項についてはISU規則第 239 条2項に従う。
  - ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成
    - ① Division A、Bとも、距離ごとに参加申込みが受け付けられた競技者(以下「参加競技者」という。)について、本連盟が公表した当該距離の2019年11月10日時点の記録(高地リンクで記録されたものを除く。以下「本年度記録」という。)の順位によって順位付ける。
    - ② Division A、Bとも、本年度記録のない参加競技者については、①までのランキングの最下位に続けて、抽選により順位付ける。
  - イ) 組合せ及び滑走順
    - ① Division A、Bは、それぞれ別競技とし、Division Bを先に競技する。
    - ② Division A、Bとも、MSRを除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、ア)によって編成されたランキングの上位の競技者から2名ずつ組み合わせる。
    - ③ Division A、Bとも、スタートレーンは、上位の者をインレーンとする。
    - ④ Division A、Bとも、ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。
  - ウ) 抽選後の棄権

前記イ)の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU規則第 243 条3項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。
- (6) 最終順位は、ISU規則第 265 条、第 268 条及び第 275 条に従って決定する。
- (7) MSRの競技方法は、以下のとおりとする。
  - ア) マススタートレースの競技方法は、ISU規則第 253 条4項 b)に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット(ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい(詳細は、ISUコミュニケーションNo.2195を参照)。
  - イ) 参加競技者が24名を超えた場合は、準決勝を行い、決勝は16名とする。
    - ① 参加競技者を1500mの本年度記録に基づき順位付ける。1500mの本年度記録のない者は抽選により順位付け、前段の最下位の者に続く。
    - ② 準決勝は、①により順位付けられた参加競技者を必要な組に配置する。各組への配置は、ISU規則第 296 条

4 項を準用する。

③ 決勝へは、準決勝各組の上位から同数が進出する。

ウ) スタートは、参加競技者が6列に整列して行う。決勝の参加競技者の並び順は抽選による。

エ) 3回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第1に、中間スプリントと最終のスプリントの合計により決定し、第2に第1に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の決定については、ISU規則第265条6項に従う。

(8) 各距離の最終順位に別表に定めるジャパンカップポイントを与える。

ア) MSRを除く各距離の Division B の1-2-3位には、それぞれ10-5-3点を加算する。(追加点)

イ) MSR準決勝の各組は、それぞれ17位以降のジャパンカップポイントとする。

ウ) 同順位はそれぞれに当該順位のポイントを付与する。

エ) ジャパンカップポイント合計が同じ場合は、次の優先順により上位者を決定する。

- ① より高いポイントをもつ者(最高ポイントが同じ場合は2番目に高いポイント、それが同じ場合は3番目に高いポイント、以下順次同様とする)
- ② 直近のジャパンカップスピードスケート競技会のポイントが高い者
- ③ 前2号で上位者が決定しない場合は同順位とする。

## 9. 表彰

各距離とも Division A (MSR は決勝) の1位から3位までの者にメダル及び賞状を授与する。

## 10. 参加資格

(1) 本年度の本連盟登録競技者であって、次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。

ア) 前年度国際スケート連盟主催競技会に日本代表となった者(当該競技会に出場した距離に限る)。

イ) 本連盟が公表した前年度記録(高地リンクを除く。)が次の表に掲げる順位以内の成績である者(男子 3000mはジュニア対象年齢の順位)。

| 500m | 1000m | 1500m | 3000m             | 5000m             | 10000m |
|------|-------|-------|-------------------|-------------------|--------|
| 50 位 | 50 位  | 50 位  | 50 位<br>(男子 20 位) | 50 位<br>(女子 20 位) | 20 位   |

ウ) 前年度のジャパンカップランキングポイントの合計が、いずれかの距離において、次の表に掲げる順位以内の成績である者(男子 3000mはジュニア対象年齢の順位)。

| 500m | 1000m | 1500m | 3000m             | 5000m             | 10000m | MSR  |
|------|-------|-------|-------------------|-------------------|--------|------|
| 30 位 | 30 位  | 30 位  | 30 位<br>(男子 16 位) | 30 位<br>(女子 16 位) | 16 位   | 30 位 |

エ) 前年度の競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の成績である者

| 対象競技会                | 500m       | 1000m | 1500m | 3000m | 5000m | 10000m | MSR |
|----------------------|------------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|
| 全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 | 8 位        | 8 位   | 8 位   | 6 位   | 6 位   | —      | 6 位 |
| 日本学生氷上競技選手権大会        | 6 位        | 6 位   | 6 位   | 6 位   | 6 位   | 6 位    | —   |
| 全国高等学校スケート選手権大会      | 6 位        | 6 位   | 6 位   | 6 位   | 6 位   | 6 位    | —   |
| 全国高等学校選抜スピードスケート競技会  | 6 位        | 6 位   | 6 位   | 6 位   | 6 位   | —      | 6 位 |
| 全国中学校スケート大会          | 3 位<br>(注) | 3 位   | 3 位   | 3 位   | 3 位   | —      | —   |

(注) 合計タイムの順位

(2) 本年度の公式競技会のうち、本競技会競技初日から起算して 10 日前までに終了した競技会において、(1)イ)に定める各距離の順位のある者の前年度記録以内の記録を収めた者は、(1)の参加有資格者と並んで参加資格を取得する(以下「追加有資格者」という)。この場合、追加有資格者申請書をスピード委員会に提出すること。

(3) 本連盟スピード委員会が特に参加を認めた者は、その距離について参加資格を取得する。

- (4) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム・選手招待等の場合に限られ、本連盟スピード委員会において審議の上、理事会の承認を受けて決定する。ただし、外国選手に賞は与えないものとする。

## 11. 参加距離

- (1) 参加有資格者及び追加有資格者は、参加資格を取得する条件を充足した距離（以下「資格取得距離」という。）について参加することができる。ただし、男子 3000mについてはジュニア対象年齢（2000年7月1日以降に生まれた者）の者のみが参加できるものとする。男子 3000mが資格取得距離であるシニア対象年齢の者は、これを男子 1500m又は5000mに振り替えて参加することができる（男子 1500m又は5000mが資格取得距離であったとしても、他の距離への振り替えは認めない。）。
- (2) 資格取得距離が1距離である者は、当該距離に加え、他の任意の1距離を選択して参加することができるものとする（唯一の資格取得距離が男子 3000mのシニア対象年齢の者は、1500m又は 5000mに振り替えた上で、他のもう1距離に参加できる。）。資格取得距離が2距離及び3距離である者は、参加可能な2距離又は3距離の1距離を他の任意の距離に変更することができるものとする（資格取得距離のうち1距離が男子 3000mのシニア対象年齢の者は、これを(1)により振り替えた上で、さらに本項目により振り替えることができる。）。資格取得距離が4距離以上の者は、資格取得距離にのみ参加できるものとする（男子 3000mに資格取得距離を有するシニア対象年齢の者は、本項目の適用上 1500m又は 5000mの参加取得距離を有する者として扱う。この場合、すでに 1500m又は 5000mが参加取得距離であったとしても、これを重複して参加取得距離数としない。）。
- (3) MSRの競技参加者は、最大24名とする。ただし、参加競技者が24名を超えた場合は準決勝を行い、その各組の上位から同数を選出して16名が決勝に進出する。

## 12. 参加申込

- (1) 参加資格有資格者にあつてはJSFマイページ (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>) の競技会参加申込サイト（以下「サイト」という。）で、追加有資格者（10.(2)に該当する者）は所定の様式で申込むこと。
- ア) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理の通知（以下「受理通知」という。）を受け取る。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
- イ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
- ウ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、ア)同様に受理通知を受け取る。こと。（サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。）
- エ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書を提出すること。
- オ) 大会事務局
- 〒080-2471 北海道帯広市西21条南3丁目29-3 櫻井知克士 気付  
ジャパンカップスピードスケート競技会大会事務局  
TEL:0155-41-3755 FAX:0155-41-3755 E-mail:chikashivolvo@live.jp
- 本連盟事務局
- 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square  
公益財団法人 日本スケート連盟  
TEL:03-5843-0415 FAX:03-5843-0416 E-mail:jsf@skatingjapan.or.jp
- カ) 参加申込状況は参加申込締切後、本連盟ホームページに公開するものとする。
- (2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込みで支払う（銀行振込に限る）ものとし振込手数料は申込者の負担とする。ただし、複数の申込者の参加料を一括して支払う場合は、参加料振込明細書を大会事務局へ送付すること。
- ア) 参加申込料 1名 1距離につき 5,000 円
- イ) 振込先
- 金融機関名:北海道銀行 帯広支店  
口座番号: 普通 1241536  
名義: 帯広スケート連盟 会長 細川吉博 (ホソカワ ヨシヒロ)
- ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない（未納の者にあつてはこれを徴収する）。ただし、本連盟が特に認めた者はこの限りではない。

エ) 前記(2)ウ)ただし書きに該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。

(3) 参加申込締切

参加有資格者 2019年10月30日(水) 正午 ※受付開始:2019年10月15日(火)

追加有資格者 2019年11月7日(木)

(4) 参加申込にかかる添付書類

ア) 中学生以下の者については、サイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書(この者が追加有資格者である場合はの該当欄に記載すること)を代表者会議までに大会事務局へ提出すること。

イ) 追加有資格者は所定の申込書(正)(副)に記入の上、参加申込手続を完了すること。また、参加申込時に大会事務局へその記録を証明できる書類を(副)に添付して送付すること。

(5) 参加申込が遅延した者(参加申込締切日までに参加申込料が納入されていない者を含む。)又は参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。

(6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

### 13. 宿泊

各自で手配すること。

### 14. その他

(1) 本競技会中(6.の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。

(2) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。

(3) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。

(4) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。